

隠岐の島町新庁舎建設 かわら版 第5号

発行：平成31年2月20日

隠岐の島町役場大規模事業課

新庁舎を支える杭工事が始まりました

新庁舎建設工事は平成31年2月5日より杭工事を行っています。「杭工事」は軟弱地盤に構造物を建築する際、地盤の強度に対して重量のある構造物を支えるために、深く固い地盤（支持層）まで杭を伸ばし、建築物等を安定して支える基礎工事のことです。

新庁舎の杭工事には「Hyper - MEGA 工法」を採用しており、3月中旬頃に完了する予定です。



▲現場全景



▲杭打機

杭を打設する機械です。高さは約30mあり、支持層まで掘削します。



▲PHC 杭

2本の杭を継いだ全長18mの杭を地下約20mにある支持層まで埋め込みます。



▲無溶接継手

従来は既製杭の継手を現場溶接によって施工していましたが、気象条件の影響を受けにくく作業時間の短縮ができる無溶接継手で施工しています。